

# 北海道浮魚ニュース

平成 17(2005)年度 14 号 (通巻 No.203)

2005 年 9 月 1 日

北海道立水産試験場

ホームページ : [http://www.fishexp.pref.hokkaido.jp/ukiuo/uki\\_index.htm](http://www.fishexp.pref.hokkaido.jp/ukiuo/uki_index.htm)

## 道東沿岸～オホーツク海スルメイカ資源調査結果

- ・道東沿岸 : 高密度で, 大きさは前年より小型。
- ・根室海峡～オホーツク海 : まだ低密度。

- ・調査期間 : 2005 年 8 月 23 日～8 月 31 日
- ・調査海域 : 道東太平洋沿岸域, 根室海峡～オホーツク海 (図 1)
- ・調査船 : 北辰丸 (釧路水産試験場), イカ釣機 6 台装備

### 1. スルメイカ分布密度 (図 1, 図 2)

道東太平洋では, 調査を行った 8 調査点の平均 CPUE (イカ釣機 1 台 1 時間当たりの漁獲尾数) は 13.32 で, 昨年 (0.86) を大きく上回り, 近年 10 年の中では高い水準でした。特に釧路沖から十勝沖で CPUE が 39.05～63.21 と高い調査点がありました。

根室海峡～オホーツク海の 8 調査点では, 2 調査点でスルメイカが漁獲されましたが, 漁獲のあった調査点の CPUE は 0.05 と低くなっていました。

### 2. スルメイカの大きさ (図 3)

道東太平洋の調査点でのスルメイカの外套長 (胴長) は, 17～24cm でした。外套長組成のモード (最も多く漁獲されたイカの大きさ) は 19cm で, 昨年 (22cm) よりも小型でした。

根室海峡～オホーツク海で漁獲されたスルメイカの外套長は 12～19cm でした。

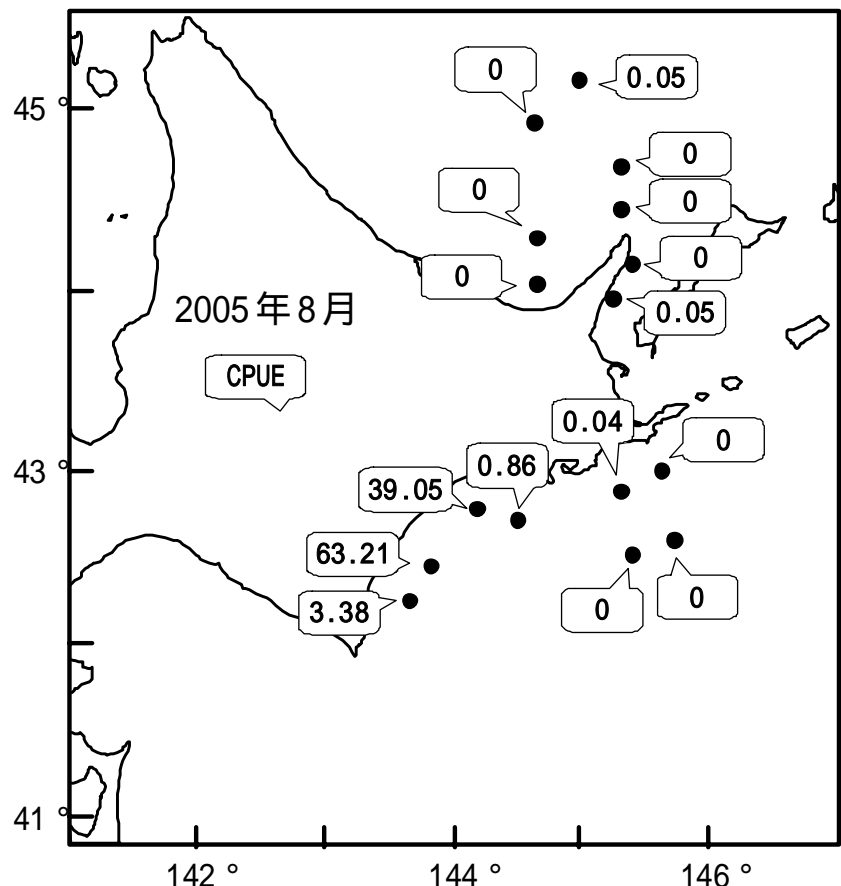


図 1 道東太平洋～オホーツク海におけるスルメイカの分布密度 (CPUE : イカ釣機 1 台 1 時間当たりの漁獲尾数)

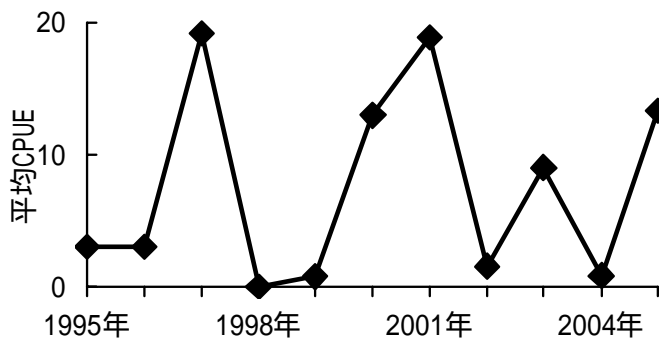
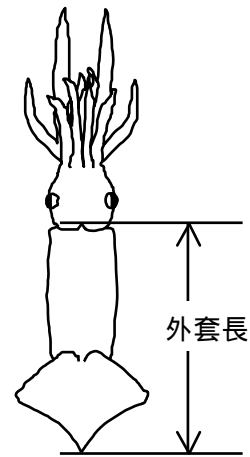


図2 道東太平洋の8月におけるスルメイカの分布密度の経年変化



### 3. 水温分布

道東太平洋の表面水温は15.4～21.8（昨年：15.7～20.6）、深度50m層の水温は3.9～10.9（昨年：3.3～13.3）でした。表面、50m層ともに昨年並みでした。

根室海峡の表面水温は17.9～18.4（昨年：17.1～19.0）、深度50m層の水温は11.3～12.1（昨年：13.7～17.5）で、深度50m層で昨年よりも低くなっていました。

オホーツク海の表面水温は16.3～18.7（昨年：11.8～19.7）、深度50m層の水温は-0.5～13.7（昨年：-0.6～8.3）でした。

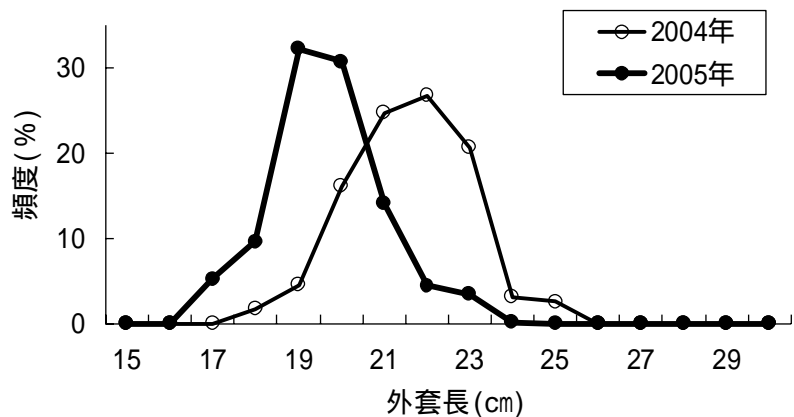


図3 道東太平洋で8月に漁獲されたスルメイカの外套長組成

### 4. 標識放流調査

スルメイカが多く漁獲された2調査点で標識放流調査を実施しました(表1)。標識イカを見つけた方は最寄りの水産試験場までお知らせください。

表1 スルメイカの標識放流状況

放流月日	放流位置	標識タグ	尾数	主な外套長(cm)
2005年8月23日	42°26' N 143°50' E	黄色・クシ口 0～999	1000尾	20cm
2005年8月24日	42°46' N 144°12' E	黄色・クシ口 1000～1599	599尾	19cm

今回の調査結果と各研究機関の調査結果をもとにして、第2次スルメイカ漁況予報が発表されます。

(文責：釧路水産試験場資源管理部，TEL:0154-23-6222，FAX:0154-23-6225)